

馬飼の郷のくらし

椎木・馬見遺跡群（古墳／奈良・平安時代編）



歴史れきしが大好きだいすなかこちゃんなは、お父とうさんといっしょいっしょに馬見山うまみやまへ登山とざんに来ていました。お父とうさんをおいてけぼりにして、おきまると遺跡いせきのことをたくさん学まなんだかこちゃん。ふたたび、お父とうさんと合流ごうりゅうするのですが……。

お父とうさん、山登りやまのぼの途中とちゅうから、おらんごとなつてごめんね！
馬見神社うまみじんじやでおきまるがまっちょ
うよ。

おきまる？
お父とうさんにも、見みえるやろか？
一緒いっしょに行いこうかね。



I 馬見神社に行ってみた

うまみ いせきぐん いりぐち はらださか わき かまごうしゃうまみじんじゃ けんしゃうま
馬見遺跡群の入口、原田坂の脇に「嘉麻郷社馬見神社」「縣社馬
みじんじゃ きざ おお せきひ た
見神社」と刻まれている大きな石碑が立っています。



うまみやま うまみじんじゃ
馬見山、馬見神社

うま
「馬」ということばが、いっぱい
でてくるんやね！
なん
何でやろうか？



ほんとやね。
うま なん
馬にまつわる何か
かくされようかもしれないね。

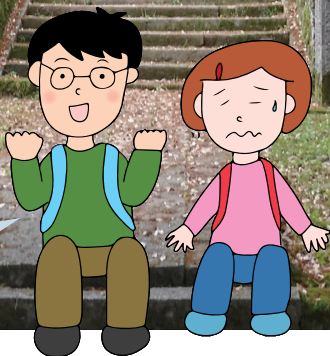


○やっついた！

ふもとからかなり登^{のぼ}ってきたところ、大^{おお}きな鳥^{とり}居^いがありました。



ひとやすみしたら、
もうちょっと登^{のぼ}って
みようか。



とう
お父^{とう}さん、
まだ登^{のぼ}ると？
のぼ
もう登^{のぼ}れんばい。



うまみじんじゃ とうちやく
馬見神社に到着。

でんせつ じんじゃ こふんじ
伝説によると、この神社は、古墳時
だい お ころ やしろ た うまみもの
代の終わり頃に社が建てられ、馬見物
のべ まつえいこまめしみこと よ ひと ぐうじ
部の末裔駒主命と呼ばれた人が宮司さ
んの祖先^{そせん}とも云^いわれています。



かこちゃんまってたよ。

えま なか ねむ
絵馬の中で眠っていたんだよ。

じゃあ、さっそく、いせき しら
遺跡を調べてみよう！



たくさんの絵馬がかかっちょうね。

よく見ると黒い馬を描いた絵馬があるばい。

あれ！あそこに何かひかるものが！ おきまる！？

コラム 「馬見・足白の由来」

江戸期の筑前国続風土記や筑前名所図絵などでは、ご祭神は「白馬大明神（馬見大明神）」として紹介されています。また、嘉穂郡誌によれば、神武天皇ご東征の折、ここに参詣され、その御神馬の足が白かったことから、馬見・足白の地名が起こったとされています。

こ ぶん Ⅱ 古墳がつくられたころ

① うま か ひとびと 馬を飼っていた人々



にほんぐす こぶんぐん
二本楠古墳群

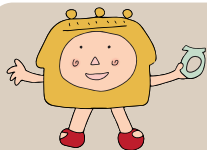
古墳時代も終わり頃になると、小さな丸いお墓がたくさん造られるようになりました。入口には、石の扉がついて、人が亡くなるとこの扉を開いて、さまざまな道具や宝物も一緒に入れます。なかには、墳丘と呼ばれる盛り土の上に埴輪を並べている古墳もあります。



ぐんしゅうふん
群集墳のイメージ

はにわ はっけん
○埴輪を発見!

これなん?

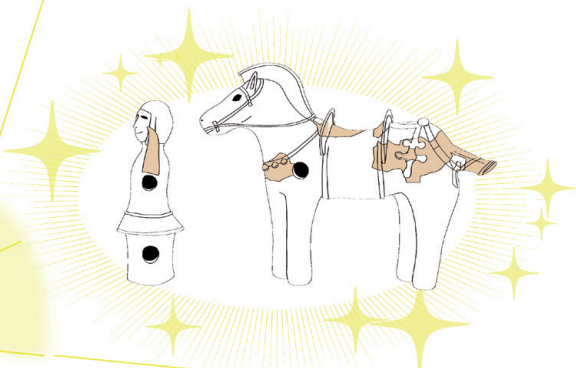
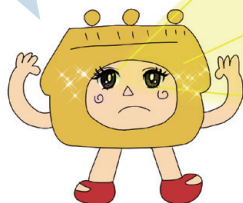


おばたけ こ ふん しゅつど うま
尾畑古墳から出土した馬
ひと はにわ は へん
と人の埴輪の破片だよ。



おいでおいでを
しちょうみたい。

おさまる
ビーム!!

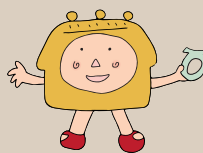


※おさまるビーム
もの ふくげん ふしぎ ちから
物を復元できる不思議な力

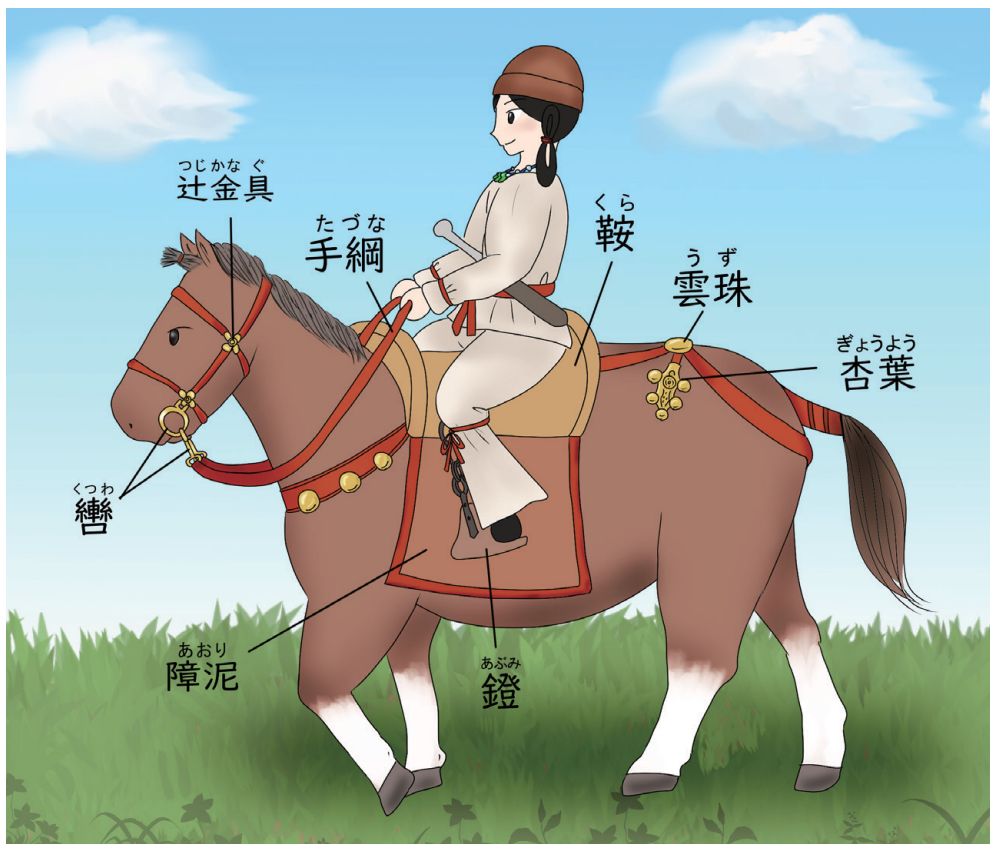
おばたけ こ ぶん はにわ
○ 尾畑古墳の埴輪から
イメージした馬の装備



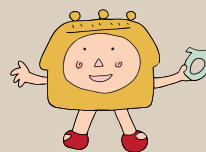
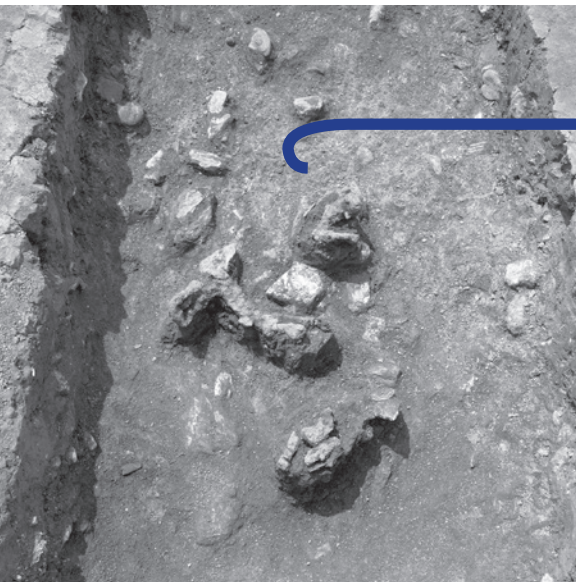
ばぐ 馬具って？



ばぐ うま あやつ どうぐ じてんしゃ
馬具は馬を操る道具のこと。自転車のハンドルが
轡、サドルが鞍、ペダルが錠、自転車を飾るアクセ
サリーに杏葉を例えることができるよ。よく見ると、
この馬には鈴ついているのがわかるね。馬が来たことがわかるよう
に鈴を鳴らしているとしたら、伝令かもね。また、金色に飾られた
馬具は、儀式の時の特別なものだったかも。



うま はか ○ 馬のお墓？



はるだ こぶん ちか あな
原田古墳の近くにある穴から

あぶみ くさり み
鐙をつなぐ鎖が見つかったよ。

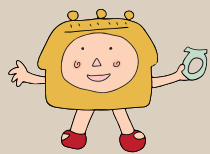
あな ど こう ぼ よ
この穴は、土壌墓と呼ばれてい

るもので、たぶん、うま か めし はか おな し
馬の飼い主のお墓と同じ時
期につくられたのかな。

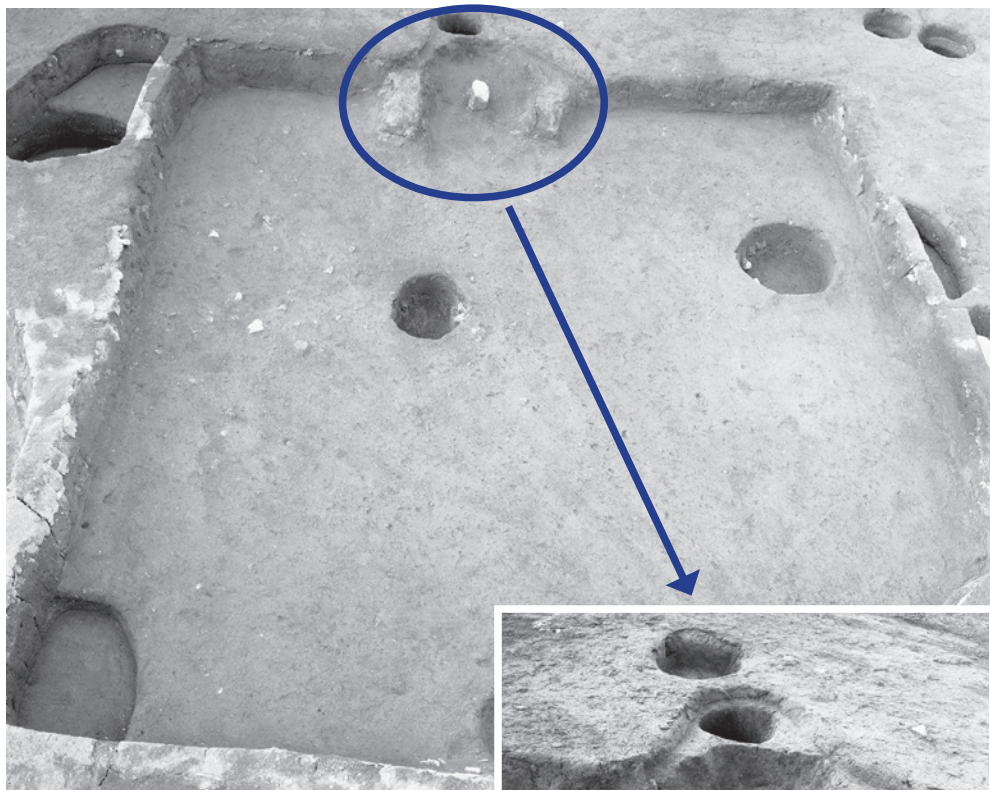
うま の ばぐ うま かたち はにわ うま いっしょ
馬に乗るための馬具や、馬の形をした埴輪のほかに、馬を一緒
に葬る儀式が行われていた場所も見つかっています。また、古い
しょうぶ ぎしき おこな ぼしよ み ふる
書物にはかつて牧場があったと書かれています。こうしたことか
ら、うま み やま まきば か ひとびと す かんが
馬見山のふもとでは、馬を飼っていた人々が住んでいたと考
えられます。

あたら せいかつ
② 新しい生活スタイルのはじまり

○『1Dから1DKに』えっキッチン！



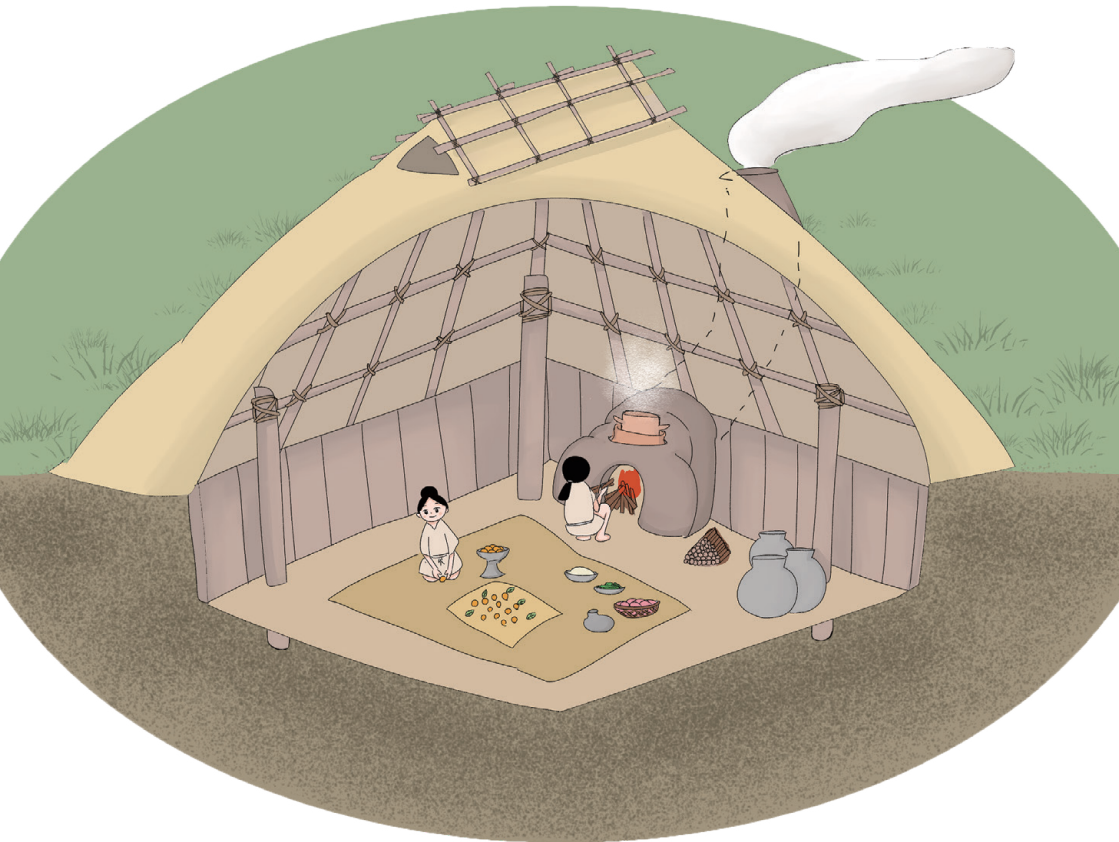
こふん うまか ひと す いえ あと
古墳のほかにも馬飼いの人が住んでいた家の跡が
み つかっているんだ。このころは家の中に「カマド」
つく ができるようになるんだよ。



ひらつか い せき あなじゅうぎょあと
平塚遺跡のたて穴 住居跡



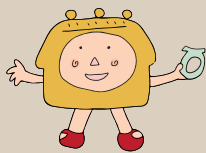
かくだい ず
拡大図



あなじゅうきょ
たて穴住居のイメージ



カマドって、なん？



つちをドーム状にじょうかためて、にむしたりりょうりつく
土をドーム状に固めて、煮たり蒸したり料理を作
るところだよ。カマドを使うと、まきすくなくてすむ
かもね。

カマドは、ガスやでんきひろつかわれるようになるついさいきん
あつたんだ。

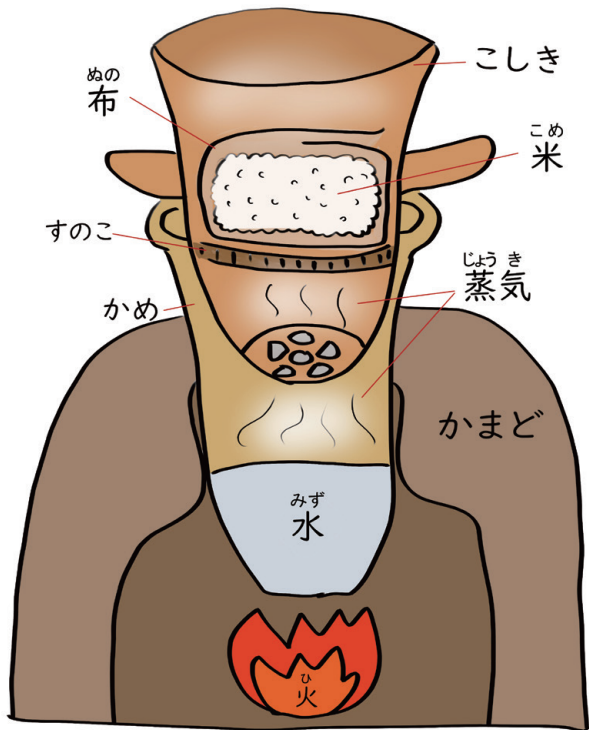
○ ご飯は、蒸しますか 蒸し料理のはじまり



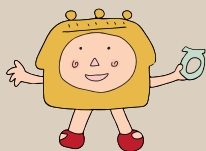
こしき：上から見たところ



こしき：横から見たところ



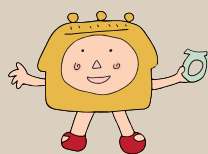
あれ、この土器の底、穴があいちょうよ。
水を入れてもこぼれるみたい。何に使ったと？



水を沸かしたら蒸気が出てくるよね。
この蒸気が土器の底の穴から上に伝わって料理ができるようになったんだ。

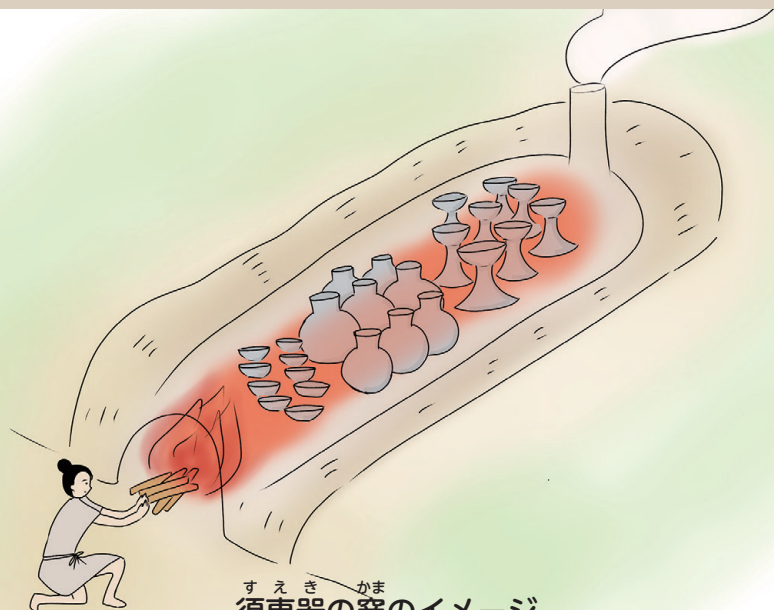
じょうぶ や もの
○ 丈夫な焼き物はいかがですか

これはなん？



これは、^{すえき}須恵器という^{どき}土器なんだ。^{こぶんじだい}古墳時代の^{ひと}人
たちが^す住んでいた^{いえ}家や、^{はか}お墓の^{なか}中からも^み見つかるよ。

^{はいろ}灰色の^{かた}固くて^{じょうぶ}丈夫な^{どき}土器で、^{かま}窯で^{つく}作られていたんだ。

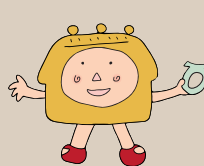


^{すえき} ^{かま}
須恵器の窯のイメージ

か ま ぐ ん う ま み ご う Ⅲ 嘉麻郡馬見郷の暮らし

な ら じ だ い
奈良時代になるとこのあたりは、か ま ぐ ん う ま み ご う よ
嘉麻郡馬見郷と呼ばれ、その
ちゅうしん ち
中心地となっていたようです。

① やま しおづく 山のふもとで塩作り



これはね、^{ひら}平
塚遺跡から出土
した^{やしお どり}焼塩土器、

たぶんこんな^{かん}感じで^{つか}使われて
いたのかな。^{うみ べ}海辺から^{ほこ}運んできた
塩をサラサラにするための
^{しお}方法を^{ほう ほう}だよ。



やしお
焼塩のイメージ



とう むかし ひと やま なか
お父さん、昔の人は、なんで山の中で
こげん しょ つく
塩を作りよったと？



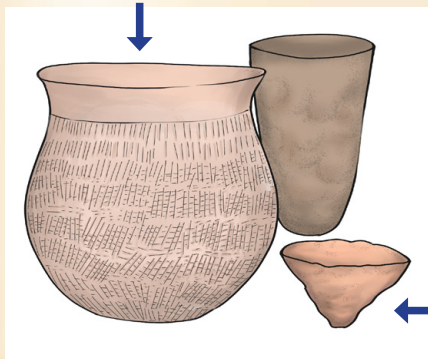
しょ うま そだ たいせつ
塩は馬を育てるのに、とても大切なものなんよ。
まえ うま か くさ よこ しょ
前に馬を飼っているところで、草の横に塩があって、
うま
馬がなめよったばい。

コラム 「製塩土器と焼塩土器」

・製塩土器

うみ べ かいすい どき い わ かし しょ つく どき ぶ あつ ずんどう かたち
海辺で海水を土器に入れ沸かして塩を作った土器で、分厚い寸胴な形
をしています。かいすい に つ しょ しょ い が い に が り えん か
海水を煮詰めた塩には、塩以外にも苦汁という塩化マグ
ネシウムを含んでいます。この塩化マグネシウムは空気中の水分を吸い
やすく、このままだとベタベタな塩になってしまいます。この塩を作っ
た しょ つく
土器ごと運ぶことで、運ぶ途中で土器に苦汁が吸着されていきます。

せい えん ど き 製塩土器

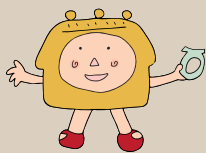


やき しょ ど き 焼塩土器

はこ しょ しょ ど き はい
運んできた土器に入っているベタ
ベタな塩を焼塩土器に入れて焼くと
しょ やき しょ ど き い や
苦汁の少ないサラサラな塩を作ること
に が り すく しょ つく
ができます。

やき しょ ど き 焼塩土器

ちょう せいじ りよくゆうとう き
○ 超すごいぜい！ 青磁・緑釉陶器



ちゅうごく えっしゅう
中国の越州にある

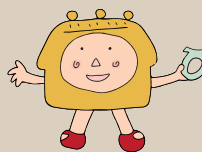
かま つく
窯で作られたキラッ

ひか せいじ ちゃわん
と光る青磁のお茶碗。

うま みほんむら いせき しゅうど
馬見本村遺跡から出土しているんだ。



こっちは？



これはね、^{りよくゆう}緑釉

^{とうき}陶器のかけらで、

^{ひらつかい}平塚遺跡から^{しゅうど}出土

しているんだ。よく見ると黄緑色

の^{ゆうやく}釉薬が^{のこ}残っているよ。緑釉とは

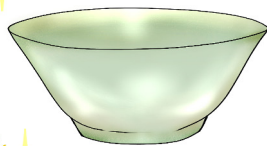
^{なまり}鉛と^{どう}銅を使った^{ゆうやく}釉薬のことで、日

^{ほん}本で作られたとても^{きちょう}貴重な^{ちゃわん}お茶碗

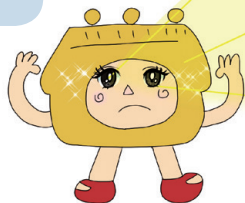
なんだ。



めっちゃ
きれい♥



おきまる
ビーム！！



○ なんだろう ねんど つく うま 粘土で作った馬？

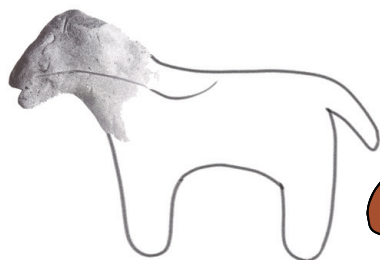
はる だ い せき しゅつど ど せいひん
原田遺跡から出土した土製品



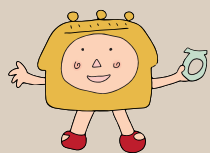
とく ちょう
【特 徴】
ほんあし
※4本足
※しっぽ



とく ちょう
【特 徴】
くち へこ
※口のような凹み
たづな せん
※手綱のような線
※たてがみ



この馬は、手のひらにのるくらいちっちゃいばい。
あら、胴体がないばい。
？
もとはこんな形やったんかな。



ふる しょもつ あまご とき くらうま ぎやく は
古い書物には、雨乞いの時は黒馬を、逆に晴れを
ねが とき はくば ほうのう か
お願いする時には白馬を奉納していたと書かれてい
い うま かね
るんだ。生きた馬ではお金がたくさんかかることから
うま か どば もくば うま え か ほうのう えま はじ
ら馬に代えて土馬・木馬や、馬の絵を描いて奉納したのが絵馬の始
い
まりと言われているんだ。きっと、このかけらもそんな願いがかけ
ねが
られていたんだろうね。

② 嘉麻郡と山上憶良



うまみじんじゃ がく み
馬見神社の額を見ていたかちゃん。

あることに気がつきました。

がく うまみじんじゃ か
額には「宇麻美神社」と書いてあります。

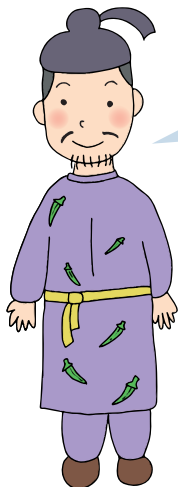


あれ、なんか
じ ちが
字が違うばい？

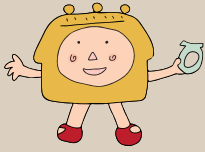


おっ、かちゃん！いい所に気がついたやん！
いま うまみじんじゃ た えどじだい
今の馬見神社が建てられたのは江戸時代やったばい。
これはもっと古い時代の書き方みたいやね。

かちゃんとお父さんが話していると、古くからおきまるがよ
く知っている男の人の声が聞こえてきました。



それはじゃな、万葉仮名を使っておるんじゃ。
ならじだいはまだ、ひらがなやカタカナはなく
てな、中国から伝わった漢字を使って、言葉
あらわ
を表したんじゃよ。



おくら ひさ
憶良さん！お久しぶりです！

かこちゃん、こちらは山上憶良さんだよ。奈良時

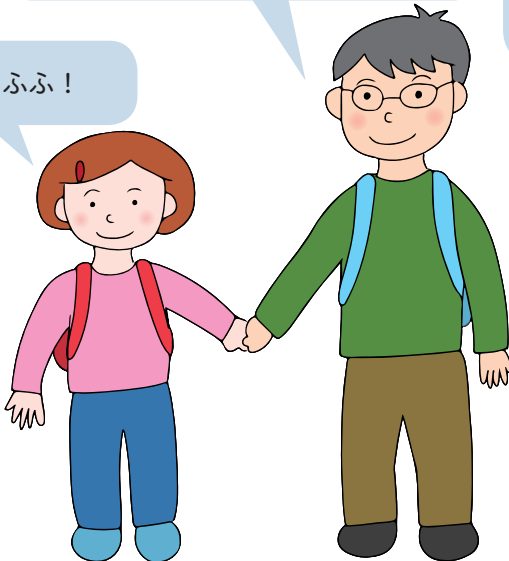
だい だいひょう か じん
代を代表する歌人なんだ。

まんようしゅう か ま き と き よ か ま さん ぶ さ く
万葉集のなかに、嘉麻にきた時に詠んだ『嘉麻三部作』があるよ。

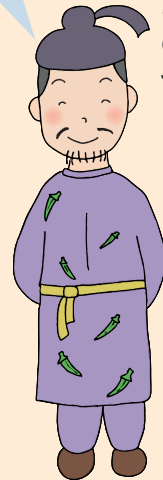
そこからひとつ。歌の意味は、『金銀も玉もいったい何の役に立つと
うた い み きんぎん たま なん やく た
いうのだ。どんなにすぐれた^{たから}宝も、^こ子におよぶことはないだろう。』
というところかな。

とう
お父さんにとっても、かこちゃんが
いちばん たからもの
一番の宝物ばい！

うふふ！



いま むかし こどもを
今も昔も子供を
おも きも おな
思う気持ちは同
じじゃなー



しろがね
銀も
くがね
金も
たま
玉も
なに
何せむに
まさ
勝れる宝
たから
子に及かめやも

しいのき とうまみ いせきぐん こぶん なら へいあんじだいへん ちず
 椎木・馬見遺跡群(古墳/奈良・平安時代編)地図



ブックレットに登場した遺跡

とうじょう

いせき

ページ 番号	遺跡名	概要
5	にほんぐすいせき 二本楠遺跡	遺跡は、馬見台地の根本付近に位置し、標高111m前後を測ります。周溝を有する5基の円墳が、それぞれの裾を接するように南北に並んだ状況で検出されました。石室の中から須臾器、鉄鏃、鉄刀などが出土しています。
6 7	おばたけこふん 尾畑古墳 (尾畑遺跡)	遺跡は、尾谷丘陵の突端部に位置し、標高は80m前後を測ります。弥生時代の住居跡や墓、古墳時代の円墳などが検出されました。古墳の周溝から円筒埴輪、馬形埴輪、人物埴輪が出土しています。
8 16	はるだこふん 原田古墳 (原田遺跡)	遺跡は、馬見台地の突端部に位置し、標高75m前後を測ります。弥生時代から古墳時代にかけての墳墓群が検出されました。また、古墳時代の古墳と、同じ頃に作られた土壇を3基検出し、そのうちの1基の土壇から馬具が出土しています。
9 13	ひらつかいせき 平塚遺跡	遺跡は、馬見台地の中央部に位置し、標高84m前後を測ります。弥生から古墳時代にかけての住居跡や奈良から平安時代の掘立柱建物が検出されました。遺構に伴って製塩土器、焼塩土器、緑釉陶器などが出土しています。
15	うまみほんむらいせき 馬見本村遺跡	遺跡は、馬見台地の根本付近に位置し、標高108m前後を測ります。弥生時代の住居跡や平安時代から鎌倉時代にかけての土壇などが検出されました。遺構に伴って完形品の越州窯の青磁碗が出土しています。

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines.

あ と が き

- 本書は、嘉麻市の椎木・馬見遺跡群について学ぶことができます。
- 本書には、一部フィクションが含まれています。
- 本書は、嘉麻市生涯学習課のスタッフで作成しました。
- 本書の写真は、嘉麻市教育委員会（旧嘉穂町教育委員会）が撮影しました。
- 本書は、文化庁の「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」にて国庫補助を受けて作成しました。





またね!

嘉麻の遺跡ブックレット Vol.3

発行 嘉麻市教育委員会
福岡県嘉麻市上臼井446-1

2021年1月31日 発行

編集 生涯学習課 印刷 マツオ印刷(株)